

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2018年	10月	20日	記入者	亀田幸英
調査者名	亀田	久門	中川邦		

調査対象先	丹生川上神社中社						
所在地	吉野郡東吉野村小968	電話番号	0746-42-0032				
代表者 調査対応者	日下康寛宮司						
対象文化財	彫刻	県指定:	20件	国宝:	件	重文:	件
	建造物	県指定:	件 棟	国宝:	件 棟	重文:	件 棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input checked="" type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	
	今後の予定	
	要望	
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input checked="" type="checkbox"/> 建物(本殿・東殿・西殿)は平成元年に村指定されたが、耐震は予算的に厳しく対応不可能。
	今後の予定	2025年までに本殿・東殿・西殿の檜皮葺きの屋根の葺き替え予定(約1.5億円)。2020年から工事開始予定。耐震については建物の内部に梁を入れたり、ボルトを締めたりし、さらに床下の補強もしてゆく予定。
	要望	ご神像20体(平安～鎌倉時代)が2018年2月に県指定になったことから、覆屋である3殿建造物の県指定を目指している。

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	平成29年(2017)に本殿・東殿・西殿に各2個づつ煙感知器を設置し、有事の際は社務所に連絡が入るようにしてある。境内に消火栓や各建物に消火器を設置済み。
	今後の予定	特になし
	要望	特になし
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他( )
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	丹生川上神社中社
-------	----------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答が Aの場合	どのような被害か	イタチ、ムササビ、アライグマの被害はある。本殿の屋根にはムササビに開けられた穴を塞いだ後が残る。猪や鹿は日常的にやってきている。
③ 今後	今後の予定、要望	2025年に屋根の改修が終わるまでは注意して対応していく。

県指定文化財の女神像(県ホームページより)



本殿の屋根の修理あと(ムササビの被害)



屋根裏を板で塞いである(アライグマの被害)



煙感知器の設置(本殿)



本殿の傍の消火器



【調査票記入者(亀田幸英)の感想】

2018年2月にご神像20体(平安～鎌倉)が県指定文化財に。覆屋である3殿(本殿、東殿、西殿)の屋根の檜皮を2025年までに葺き替える予定。いずれこの3殿も県指定を目指している。